

県内企業における外国人材の受入事例

企業名：株式会社あきた創生マネジメント

所在地	能代市二ツ井町切石字竜毛沢17-2	
代表取締役	阿波野 聖一	
業種	医療・福祉	
創立	2011年10月5日	
従業員数	46名	
外国人の雇用状況	インドネシア国籍14名（技能実習6名・特定技能8名） （※令和5年11月1日現在）	

在留資格	技能実習、特定技能
事業概要	・介護事業 ・登録支援機関・海外人材インターンシップ事業 ・高齢者介護事業所（県北地区2カ所、秋田市2カ所）

○外国人材受入れの目的・きっかけ

- ・労働力人口が減少し、慢性的な人手不足が続いていることに危機感を感じ、2019年11月より外国人材（技能実習生、当社ではグローバルメンバーと呼ぶ）の受入れを始めた。

○働きやすい環境づくりへの取組内容

- ・グローバルメンバーが日々の業務についてできたこと、感じたことなどを1日の振り返りをノートに記入し、日本人スタッフからコメントをつけてフォローをしている。これにより業務能力の向上と円滑なコミュニケーションが取れている。
- ・ラインワークスを使い、仕事、生活面も含めた相談を受けるなど、コミュニケーションを取り、仕事、私生活の両面でバックアップ体制をとっている。

○取組の効果

- ・グローバルメンバーとの共生、協働に向けた日本人スタッフの意識の向上。
- ・ダイバーシティ、インクルージョンの浸透にもつながっている。
- ・グローバルメンバー業務能力の向上、日本人と同等まで成長が見られる。

○外国人材の受入れに関する課題など

- ・賃金で比べると都市圏と本県（地方）は厳しい、定着のメリットとして、地域における同国籍（食、宗教）のコミュニティの形成が必要、コミュニティを作ると外国人は安心する
- ・行政の相談窓口について、外国人の実情に応じた相談手段が必要、電話・メールからライン等のアプリなど外国人が使用しやすい、実態に見合った相談手段を加えることが必要

○代表者メッセージ

- ・外国人材の受入れは手間も時間も掛かるが、まさに今、取り組んでいかなければ企業としての存続は難しいと考えている。
- ・人材が不足していざ受入れを検討しても、入国までの期間や教育の期間が相応に必要なとともに、既に外国人材は国内どころか海外も含めて取り合いの状況である、必要だと思った時に動き出しても既に遅い。
- ・1歩を踏み出して欲しい。今の自身の海外人材に対する価値観が合っているかを確かめる上でも、当社の取組を見ていただければ外国人材の良さを感じていただけたらと思う。



調理業務の様子



施設内の似顔絵



振り返りノート